

第 2 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

1 単元名 たしかめながら読もう (光村 2 年下)

2 教材名 「一本の木」

3 単元について

(1) 教材や指導価値について

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の2領域を関連づけた学習ができ、表現に即して丁寧に読み取っていき、その読み取った力を定着させるため、読み取りの学習をもとに、内容を自分で選んで説明書を書く力を育てることをねらいとしている。

読むことの教材「一本の木」の前半は、話題提示文のあとの順序を表す言葉を使い、一本の木の描き方を説明している。後半は、木が育っていくときのきまりについて説明している。どちらも、絵と文章を対応させながら読み進めることができるようになっている。そのため、順序を表す言葉を参考にしたり、絵と文章を見比べたり、実際に絵を描いたりして、書かれている内容を確認しながら読み進めることができる。その活動が、さらに、実物の木にも向けられ、説明文を読む楽しさ、知る楽しさを味わうことができると考える。単元の後半では、読むことで学習した時間の経過に従って端的に説明すること、文と挿絵を対応させることにより、分かりやすくなることなどを生かしておもちゃ作りの説明書を書くようになっている。児童にとって、自分が作ったおもちゃの作り方を1年生のために書くことは、意欲的に取り組める活動であると考えられる。

本単元は、情報の正確な需要、整理を中心に、発信を含めた情報活用の最初の単元として、目的意識を明確にさせ、その観点から書かれている言語情報を読み取ったり活用したりする、方向付けをする単元である。

(2) 児童の実態

児童は、「読むこと」の学習として、「たんぽぽのちえ」では、たんぽぽの成長の過程に気をつけて、たんぽぽが仲間を増やす知恵を読み取る学習を行った。時間を表す言葉や挿絵に着目しながら学習を進めたが、音読はできて内容の読み取りが十分でない児童もいた。

また、「書くこと」の学習として、読み取りで学習した問いの文「~でしょう。」と答えの文「~のです。」の文末表現を使って、生き物の「ちえクイズ」を作った。ほとんどの児童が文末表現に気をつけて問題と答えの文を書くことができた。しかし、問題に対応する答えの文を書くことができない児童もいた。また、児童の日記などを見ると、表記のしかたや助詞の使い方を間違えたり、主述がねじれていたり、一文が長かったりする児童がいる。

(3) 指導の構想

指導にあたっては、まず、「おもちゃの説明書を書いて1年生に教えよう。」と児童に呼びかけ、学習の意欲付けを図る。ムナーリさんの絵の描き方を、「まず」・「つぎに」・「そのつぎに」・「おなじょうにして」の順序を表す言葉と挿絵を、ワークシートを使って対応させながら読み進める。また、順序を表す言葉を
・ ・ ・ に置き換えて書かれていることをまとめる学習を行う。ここで、順序を表す言葉の後に絵の描き方の文が端的に書かれ、二文目以降はその時の注意事項が書かれていることに気づかせたい。木が育っていくときのきまりについてもワークシートを使って絵と文を対応させながら読み取らせる。

おもちゃの作り方の説明書を作る学習では、「読むこと」で学習した「絵と対応させて説明を書く」「することを短い文で書く」と分かりやすくなることを生かして、1年生に分かりやすい説明書を書く活動を行う。この時、作業工程を4つ程度に分け、それが ~ のカードになることやキーワードを確認してから書かせたい。

これらの学習を通して、読むことにより得た情報を主体的に確かめることや、知っていることを伝えることの基礎を育てたい。

4 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	・説明の仕方に興味をもって、進んで説明の文章を読んだり書いたりする。	・説明書を作ることに興味をもって、進んで説明の文章を読んだり書いたりしようとしている。
読む能力	・文章の内容を絵に対応させながら、順序よく読み取ることができる。	・読み取ったことを踏まえて、絵や言葉で順に書き表している。
書く能力	・書く事柄の順序を考えながら、語と語や文と文の続き方に注意して書くことができる。	・説明に必要な材料を順序よく整理して、文章の組み立てを考えて書いている。
言語についての知識・理解・技能	・順序を表す言葉に注意しながら、正しく読んだり書いたりすることができる。	・順序を表す言葉を使って文章を書いている。

5 単元指導計画（12時間）

- (1) 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 (2)
 - ・全文を読み、感想をもつ。 1
 - ・学習の計画を立てる。 1
- (2) 木の描き方や形について読み取り、分かりやすい説明文について考える。 (5)
 - ・木の描き方について読み取る。 2 (1校時 1/2)
 - ・さまざまな木の形について読み取る。 2
 - ・分かりやすい説明文について考える。 1
- (3) おもちゃの作り方の説明書を作る。 (5)
 - ・分かりやすい説明書について考える。 1
 - ・作り方の説明を分かりやすく書く。 3 (2校時 2/3)
 - ・完成した説明書を読み合い、感想を伝える。 1

6 本時の指導について

- (1) 本時の目標
ムナーリさんの木の描き方を読み取ることができる。
- (2) 本時の評価規準
ムナーリさんの木の描き方をまとめている。
- (3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
<p>導入 (5分)</p>	<p>1 前時の学習内容を想起する。 ・「一本の木」の大まかな内容について想起させる。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ムナーリさんはどんなかき方を思いついたのだろう。 </div>	<p>・本文には、話題提示、木の描き方、さまざまな木の形について書いてあったことを確認する。</p> <p>・ムナーリさんが思いついた木の描き方について、順序に絵と文で確かめていくことを意識づける。</p>	<p>学習課題をとらえている。(観察)</p>
<p>展開 (35分)</p>	<p>3 形式段落 ~ を音読する。</p> <p>4 ムナーリさんの木の描き方を読み取る。 (1)順序を表す言葉と挿絵の順序を確かめる。</p> <p>(2)それぞれの段階で何を書くのか読み取る。</p> <p>(3)順序に絵と文を対応させながら、詳しく読む。</p> <p>5 ムナーリさんの描き方をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ・みきをかいてから、えだをかく。 ・えだは、二本ずつかく。 ・えだは、細くみじかくしていく。 </div>	<p>・一斉読みの後、段落読みをする。段落読みの際、順序を表す言葉を探しながら聞くように指示する。</p> <p>・「まず」「つぎに」「そのつぎに」「同じようにして」に気付かせる。</p> <p>・順序を確かめ、表に絵を貼る。</p> <p>・読み取ったことを表に書き込ませる。</p> <p>・順序に何を描くのかを確かめ、枝の出る場所とその太さや長さについて気づくようにさせる。</p> <p>・段階ごとに絵を描き足していく。</p> <p>・表や絵を見ながら、描き方の特徴に気づかせる。</p> <p>・一文に一つ書くように指示する。</p>	<p>段階に沿って、描く部分を書いている。(ワークシート)</p> <p>具体的評価規準 (A)描き方の特徴に気づき、文にまとめている。 (B)描く順序と枝の数に気づき、文にまとめている。 (Cへの支援)表と挿絵を見せ、幹から描いていることに気づかせる。(ワークシート)</p>
<p>終末 (5分)</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。 ・ムナーリさんの描き方について感想を発表する。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>・第一次で自分たちが描いた絵と比べ、ムナーリさんの描き方のおもしろさに気づかせる。</p> <p>・次時は、ムナーリさんの描き方の説明書を作ることを知らせる。</p>	

7 本時の指導について

- (1) 本時の目標
相手に分かるように、順序を考えて絵入りの説明書を書くことができる。
- (2) 本時の評価規準
おもちゃの作り方を、順序に従って分かりやすく書いている。
- (3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	1 本時の学習課題を把握する。 ・伝える相手を確認する。 ・課題を確かめる。 作り方のせつめいを分かりやすく書こう。	・伝えたい相手を想起させることによつて、意欲をもたせる。	学習課題をとらえている。 (観察)
展開 (35分)	2 分かりやすく書くために気をつけることを確認する。 ・順序よく ・絵(図)を入れる ・一文を短く 3 おもちゃの作り方の工程を確認する。 4 作り方の説明を書く。 (1) 全体で話し合いながら、のカードの文を書く。 (2) のカードの文を書く。 (3) のカードを書く。 ・説明する文を書く。 ・絵を描く。 ・見直しをする。 ・アドバイスコーナーへ行き、友達と交換して読み合う。 5 のカードを発表する。	・構成表をもとに何をどのような順序で作るのかを確認していく。 ・大事な言葉を落とさずに書くようにさせる。 ・一文目に何を作るのが、二文目に大きさや数などの詳しい説明を書けばよいことを確認する。 ・一文目と二文目の大事な言葉を確認してから書かせる。 ・絵が描けない児童には、絵を与える。 ・早く終わった児童は、見直しの観点に従って推敲させる。その後、アドバイスコーナーへ行くようにさせる。 ・発表者のカードに、大事な言葉が入っているか確かめながら聞くようにさせる。	何をどのような順序で作るのが分かっている。(発言) 具体的評価規準 (A)順序に従って大事な言葉を落とさずに、分かりやすい文を書いている。 (B)順序に従って説明する文を書き、文と絵が対応している。 (Cへの支援) 大事な言葉を確認し、何をしたのかを書かせる。
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返る。 ・自己評価をする。 7 次時の学習内容を確認する。	・評価の観点に沿って、自己評価させる。 ・表紙を作り説明書を完成させて、友達と読み合うことを知らせる。	観点に基づき自己評価している。 (挙手)